

別府港湾・空港整備事務所通信

大分工業高等学校のみなさんとみるケーソン据付 ～現場見学in大分港～

令和5年1月26日に、大分港大在西地区において、大分工業高校の学生39名を招いて「令和4年度大分港(大在西地区)岸壁(-9m)築造工事現場見学会」が開催されました。

★当日のスケジュール★

①事業概要の説明②工事概要の説明③ケーソン据付見学④質疑応答

はじめに、当事務所若手職員が事業概要について、学生のみなさんにわかりやすく説明しました。



今回は岸壁の一部になるケーソン(コンクリートの箱)の据付作業の見学です

大分港大在西地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業

現状

発生する問題

事業

効果

岸壁・泊地の水深不足、貨物を置く用地不足で船社等は非効率な荷役をしている

今後の貨物需要の増加に対応できず、荷役できる貨物量の制限が想定される

船舶の大型化等に対応するため、岸壁の整備や泊地の浚渫等の港湾施設の整備を行う

現状の問題解決、海上輸送の効率化及び輸送コストの削減をはかる

工事概要の説明、ケーソン据付見学

ケーソン1函:909トン
高さ:3~4階建てビル
相当の大きさです!



工事概要説明



質疑応答

盛り上がりました。
リアルVR体験!



誤操作等による事故体験

Qケーソンの据付にどのくらいの時間がかかりますか?

A5時間半ぐらいかかります。

Q(今回使用した)旋回起重機船を動かすのにどのくらいのお金がかかりますか?

A1日1200万円、ワイヤー交換で2億円、建造費で60億円かかります。

Q船の中にどのくらいの人が乗れますか?

A30人ぐらいの人が居住できます。昭和62年に作られた船で、各部屋個室になっています。

Q船の食事はどんな感じですか?

A3食用意されます。とんかつやカレーなど作業が終わった後に、みんなで食べるおいしいです。

～感想～

今回の現場見学会を通して、港湾工事のスケールの大きさなどの魅力や、社会貢献へのイメージ、建設現場の仕事のやりがいを肌で感じることができました。

学生たちは普段学校では体験することのできないVR体験で安全の重要性を学んだり、質疑応答の場面では、沢山の積極的な質問を投げかけたりと、大変頼もしく思いました。寒波の中での見学会でしたが、体調不良者もなく、無事に終わることが出来ました。今回の現場見学会で、少しでも土木の仕事に関心をもっていたらと思います。

にっこり笑って
記念撮影!

